

まちの話題

もしも、世界に「税金」がなかったら・・・

本小・中川根第一小で租税教室実施 役場税務課

役場税務課では、租税の意義や役割を子どもたちに正しく理解してもらくことを目的とした「租税教室」を開きました。(1月31日：本川根小学校、2月7日：中川根第一小学校)
中川根第一小学校の租税教室には、6年生全員が出席しました。税務課職員による税金の仕組みの説明の後、イラストを使った「消費税の行方」や、アニメビデオによる「税金のない暮らし」など、税金によって成り立っている社会や日常生活について学びました。

「皆さんが通う町立小学校の『町立』とは、川根本町が集めた税金で建てた学校、という意味です。税金のおかげで、楽しく勉強ができることを思いながら、学校の机や椅子、教科書など大切に使ってくださいね」という話に、児童たちは大きくうなずいていました。



熱心な「税」について勉強しました

長島ダムの上空に舞い上がる、自慢の凧たち

やまびこ応援団主催「和凧づくり・凧揚げ」体験

接岨地区の有志で組織する「やまびこ応援団（大石博人団長）」は、2月16日～17日にわたり「和凧づくり・凧揚げ体験会」を開催しました。

1日目は和凧づくりに挑戦。鹿、猪、クズ、アケビ、フジでつくった筆で野性味あふれる字を書いた凧をつくりました。2日目は、完成した凧を長島ダムの提体で揚げました。提体付近は風が強く苦戦しましたが、ある程度揚がると、みるみる風を受けて80mの凧糸を使い切るほどに揚がり、普段はできない場所での凧揚げを満喫しました。

大石団長は「これからも、この地区でしか体験できないような体験会を企画し実施していきたい」と話していました。



周りの山より高くあがれ！

この長島ダム提体での凧揚げは、今回特別に国土交通省長島ダム管理事務所の許可を得て、提体道路を封鎖して行われました

「100年の森づくり」を考えよう 100年の森づくりシンポジウム

2月16日、林業の動向や大井川産木材の展望を考える「100年の森づくりシンポジウム」が町文化会館において開催され、町内林業家、森林組合、流域製材業者、県内林業関係者など約100人が参加しました。シンポジウムは、小野田法彦さん（小野田林材研究所長）の基調講演の後、事例発表、パネルディスカッションと続きました。小嶋陸雄さん（静岡大学教授）がコーディネーターとなり、大井川材の展望について討論され、「このような会を継続して行っていくことが重要」、「地域の資源を生かすという気持ちで前向きに林業に取り組んでいく」など、パネリストの方々の議論に加え、来場者からも多くの意見が出されました。



来場者からも活発な意見が出されました

土木一式・解体工事・植栽工事

ISO9001 認証取得



代表取締役：梶山 博 住所：川根本町元藤川373-3 電話：0547-57-2525 FAX：0547-57-2167

特別会計について



① 国民健康保険事業特別会計
10億9,700万円
8.5%増（前年度比）



② 老人保健特別会計
1億2,700万円
89.2%減（前年度比）



③ 後期高齢者医療事業特別会計
1億1,160万円
（新規）



④ 介護保険事業特別会計
8億6,070万円
0.6%増（前年度比）



⑤ 簡易水道事業特別会計
2億4,720万円
38.1%減（前年度比）



⑥ 温泉事業特別会計
2,090万円
6.7%減（前年度比）



⑦ いやしの里診療所事業特別会計
4,380万円
12.9%増（前年度比）

【特別会計の説明】
事業の内容により、独立採算で運営するものや、運営状況を特に明確にする必要があるものについて、経理を独立させ特別会計で運営しています。
本町には、国民健康保険、老人保健、介護保険、簡易水道事業、温泉事業の5つに、昨年度途中から加わったいやしの里診療所事業、今年度から新しく加わる後期高齢者医療事業を加えた7つの特別会計があります。

【国民健康保険事業特別会計】
医療技術の高度化や高齢化により医療給付費は年々増加し、前年度対比8.5%の増額となりました。また、平成20年度から40歳以上75歳未満を対象にメタボリックシンドローム対策を取り入れた「特定健診・特定保健指導」が始まり、人間ドック助成などを含め保健事業の充実により、医療費適正化に努めます。

【老人保健特別会計】
平成20年4月から後期高齢者医療が始まるため、老人保健特別会計の予算は平成20年3月診療分・過誤精算分の医療費を見込み、前年度対比89.2%の減額となりました。

【後期高齢者医療事業特別会計】
後期高齢者医療制度の開始に伴い、新たに設置された特別会計です。県内全市町が加入する静岡県後期高齢者医療広域連合を運営主体とし、各市町は窓口業務のほか被保険者の皆さんから保険料を徴収する業務を担います。被保険者の皆さんに適正な医療が提供できるよう努めます。

【介護保険事業特別会計】
過去のサービス量、給付実績、利用者の意向などを考慮して策定した第3期介護保険事業計画（平成18年度～平成20年度）を基に、保険給付費や保険料を見込み前年度対比0.6%の増額となりました。

【簡易水道事業特別会計】
旧両町で給水使用料の料金体系や施設の整備状況、起債残高が異なることから、引き続き一國二制度で運営していきます。中川根区域では、町営水道未普及地域だった田野口地区への新設整備が完了しました。本川根区域では、北部簡易水道の土本配水管布設事業、小長井送水管布設事業を実施します。それぞれの簡易水道を良好に管理運営し、安定給水に努めます。

【温泉事業特別会計】
老朽管布設替えとして寸又峡温泉引湯管布設事業を実施し、源泉を各温泉施設へ良好に供給するよう努めます。

【いやしの里診療所事業特別会計】
平成19年9月に小長井地区に開院した町営診療所「いやしの里診療所」の運営予算です。利用者が求める充実した医療を提供できるよう努めます。

一般会計・特別会計を合計した今年度の当初予算総額は85億9,020万円となり、前年度と比べ約5億円の減額予算となりました。町の貯蓄である基金の取り崩しに頼る依然厳しい財政状況が続いています。少ない財源の中で、町の未来のために役場は何ができるのか。大切なことは選択と集中です。財政の健全化は当然目指すところですが、それをお題目にして住民サービスをないがしろにしてはなりません。町民の皆さんが、この町の未来に希望を持っていないような町になつてはならないのです。総務課では昨年同様、町の事業や予算内容を盛り込んだ冊子を作成予定です。川根本町は、広報かわねほんちようを通して、また総務課作成の冊子を通して「町の財政状況」を町民の皆さんに知っていただき、昨年から取り組んでいるこのスクラム体制。できるだけつぶさに、そして包み隠さずに情報を公開します。公開することが目的ではなく、これら情報をもとに、皆さん一人一人が、この町の現状を知り、この町の未来を考えてほしいと願っています。

特集2 平成20年度 私たちの予算
～終わり～

予算についてのお問い合わせは、本庁総務課財政係まで。電話 (56) 2220